

平成24年2月

三宅成智 学位論文審査要旨

主査 海藤俊行
副主査 北野博也
同 中村廣繁

主論文

Fetal anatomy of the lower cervical and upper thoracic fasciae with special reference to the prevertebral fascial structures including the suprapleural membrane

(特に胸膜上膜を含む椎前筋膜構造に関連した、頸部下位・胸部上位の筋膜に関する胎児の解剖)

(著者：三宅成智、竹内裕美、趙白皖 (Cho Baik Hwan)、村上弦、藤宮峯子、北野博也)

平成23年 Clinical Anatomy 24巻 607頁～618頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、貴重な胎児標本から多数の光学顕微鏡切片を作製して、頸部下位から胸部上位における筋膜の解剖学的構造を詳細に検討したものである。その結果、翼状筋膜は血管鞘と壁側胸膜を連結することにより、頸部基部から上縦隔にわたる筋膜の連続性を維持する重要な構造であることが判明した。

本論文の内容は、頸部下位から胸部上位の解剖学的構造に関して耳鼻咽喉科頭頸部外科及び胸部外科診療の基礎となる新たな知見を加えたものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。